

安全未来特定認定再生医療等委員会

# 議事録要旨

第 190 回 17 部

〒213-0001 神奈川県川崎市高津区溝口 1-19-11 グラントール溝の口 502 号

一般社団法人 再生医療安全未来委員会

理事長 白井 由美子

# 安全未来特定認定再生医療等委員会議事録要旨

## 第190回 第17部

2022年11月23日

安全未来特定認定再生医療等委員会は、提出された再生医療計画について、その調査・審議・判定を行ったので、その議事録要旨を作成する。

### 【議題】

医療法人再生会 セルメディカルチームジャパン

- 定期報告 ①「脂肪組織由来幹細胞(ADRC)を用いた脊髄損傷に対する治療」  
②「脂肪組織由来再生(幹)細胞(ADRC)を用いた重症下肢虚血に対する治療」  
③「脂肪組織由来再生(幹)細胞(ADRC)を用いた変形性関節症に対する治療」  
④「脂肪組織由来再生(幹)細胞(ADRC)を用いた慢性疼痛に対する治療」

### 第1 審議対象及び審議出席者

#### 1 日時場所

日 時：2022年11月22日(火曜日) 第17部 18:40～19:25  
開催場所：東京都渋谷区渋谷 2-22-3 渋谷東口ビル

#### 2 出席者

出席者：内田委員(分子生物学等)、寺尾委員(再生医療)、辻委員(再生医療)、  
高橋委員(臨床医)、角田委員(細胞培養加工)、菅原委員(生命倫理)、  
奥田委員(一般)

※辻委員、高橋委員は、Zoomにて参加

申請者：管理者 坂口 尚

陪席者：(事務局) 坂口 雄治、白井 由美子

#### 3 技術専門員 ①、③ 寺尾 友宏 先生

② 辻 晋作 先生

④ 大岩 彩乃 先生(評価書)  
東京慈恵会医科大学 麻酔科学講座 講師

#### 4 配付資料

資料受領日時 2022年11月1日（脊髄損傷、重症下肢虚血）

2022年11月11日（関節症、慢性疼痛）

（本審査資料）

- ・再生医療等提供状況定期報告（様式第三）
- ・定期報告フォーム（③、④）
- ・年間 教育・研修記録文書

（事前配布資料）

- ・再生医療等提供状況定期報告（様式第三）
- ・定期報告フォーム（③、④）
- ・年間 教育・研修記録文書

（会議資料）

- ・再生医療等提供状況定期報告（様式第三）
- ・定期報告フォーム（③、④）
- ・年間 教育・研修記録文書
- ・技術専門員による評価書（④）

## 第2 審議進行の確認

### 1 開催基準の充足

再生医療等の安全性の確保等に関する法律施行規則（平成二十六年九月二十六日厚生労働省令第百十号）改正後第六十三条の規定する開催要件は次のとおり。

成立要件：

- 1 5名以上の委員が出席していること。
- 2 男性及び女性の委員がそれぞれ2名以上出席していること。
- 3 次に掲げる者がそれぞれ1名以上出席していること。
  - イ. 再生医療等について、十分な科学的知見及び医療上の識見を有する者
  - ロ. 細胞培養加工に関する識見を有する者
  - ハ. 医療又は医療分野における人権の尊重に関して理解のある法律に関する専門家、または生命倫理に関する識見を有する者
- 4 出席者の中に、審査等業務の対象となる再生医療等提供計画を提出した医療機関（当該医療機関と密接な関係を有する者を含む。）と利害関係を有しない委員が過半数含まれていること。
- 5 認定再生医療等委員会の設置者と利害関係を有しない委員が2名以上含まれていること。

事務局の坂口雄治が今回の審査の前に、開催基準に関して要件を読み上げ、全てにおいて条件を満たしていることを各委員に宣言した。

### 第3 審議

#### 1 質疑

- ① 「脂肪組織由来幹細胞(ADRC)を用いた脊髄損傷に対する治療」

菅原 | 0例0件で、特に問題はありません

- ② 「脂肪組織由来再生(幹)細胞(ADRC)を用いた重症下肢虚血に対する治療」

菅原 | 0例0件で、特に問題はありません

- ③ 「脂肪組織由来再生(幹)細胞(ADRC)を用いた変形性関節症に対する治療」

菅原 | 9例9件です。来院せずに、電話連絡で経過観察を行っている患者さんが多いので、できるだけ来院してもらおうようにしてください

- ④ 「脂肪組織由来再生(幹)細胞(ADRC)を用いた慢性疼痛に対する治療」

菅原 | 26例26件です。大岩先生の評価書にあるとおり、さまざまな状態による疼痛なので、サブグループ解析を行って評価した方がよいということと、評価は、次回はできるだけ提供計画書に沿った実施をお願いします

#### 2 判断

審査の結果、報告内容が再生医療等の安全性の確保等に関する法律に適合しており、当該再生医療提供計画の継続に問題はないと全員一致で認められた。ただし、③については、次回は患者に経過観察のための来院を促すことを要請する。④については、サブグループ解析を行うこと、評価は、提供計画に沿った実施を要請する。

### 第4 審議結果

定期報告は適切である。

以上